

平成28年8月5日

各位

カメイ株式会社

『グランマ・モーゼスと花の絵画展』（東日本大震災復興支援）開幕

8月2日（火）、当社が特別協賛しております『グランマ・モーゼスと花の絵画展』（東日本大震災復興支援）がカメイ美術館において開幕いたしました。

本展覧会は、東日本大震災で被災された方々に、明るさと勇気をもたらすことを願い、平成26年に開催された「東日本大震災復興支援 特別公開 ゴッホの《ひまわり》」展」に続く第2弾の絵画展となります。

グランマ・モーゼスは、70歳を過ぎてから筆をとり、101歳で亡くなる直前まで、身の回りで繰り広げられる農園の暮らしや少女時代の思い出を主題にした作品を描き続けました。正規の美術教育を受けることなく、独自の世界観で描かれた作品は多くの人々に愛され、グランマ・モーゼス（モーゼスおばあちゃん）の愛称で親しまれました。

被災された方々の心の癒しになることを願い、モーゼスの描く四季折々の素朴で暖かみのある風景画と、カメイ美術館が収蔵する色とりどりの「花」の絵画合計35点を展示しております。

【 展覧会 概要 】

展覧会名	グランマ・モーゼスと花の絵画展（東日本大震災復興支援）
会 期	平成28年8月2日（火）から平成28年10月2日（日）まで
会 場	カメイ美術館（仙台市青葉区五橋1-1-23 カメイ五橋ビル7階）
主 催	カメイ美術館、東郷青児記念 損保ジャパン日本興亜美術館、河北新報社
特別協賛	カメイ株式会社、損害保険ジャパン日本興亜株式会社
入 館 料	一般 500円（65歳以上・中学生以下は無料）
展示作品	東郷青児記念 損保ジャパン日本興亜美術館収蔵の「グランマ・モーゼス」の作品、モーリス・ド・ヴラマンクや梅原龍三郎、中川一政らの色とりどりの「花」の絵画約35点

（ご参考）

カメイ美術館ホームページ「グランマ・モーゼスと花の絵画展」（東日本大震災復興支援）

<http://www.kameimuseum.or.jp/topics/2016/07/post-103.html>



グランマ・モーゼス《グランマ・モーゼスの家、1925年》1952年 東郷青児記念 損保ジャパン日本興亜美術館蔵
Copyright ©2016 Grandma Moses Properties Co., New York

グランマ・モーゼスと花の絵画展

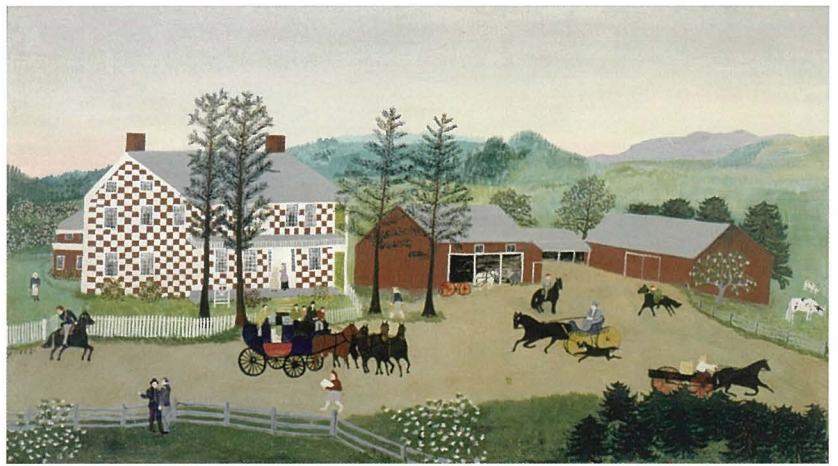
(東日本大震災復興支援)

2016年 8月2日(火) - 10月2日(日)

- 主催 | カメイ美術館、東郷青児記念 損保ジャパン日本興亜美術館、河北新報社
特別協賛 | カメイ株式会社、損害保険ジャパン日本興亜株式会社
後援 | 宮城県、仙台市、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、朝日新聞仙台総局、毎日新聞仙台支局、読売新聞東北総局、産経新聞社東北総局、NHK仙台放送局、TBC東北放送、仙台放送、ミヤギテレビ、KHB東日本放送、エフエム仙台



グランマ・モーゼス《フージュック・フォールズ、ニューヨークII》1944年
東郷青児記念 損保ジャパン日本興亜美術館蔵
Copyright ©2016 Grandma Moses Properties Co., New York



グランマ・モーゼス《古い格子縞の家》1944年 東郷青児記念 損保ジャパン日本興亜美術館蔵
Copyright ©2016 Grandma Moses Properties Co., New York

70代で筆をとり101歳まで描き続けたグランマ・モーゼス。モーゼスの描く四季折々の素朴で暖かみのある風景画は、見るものの心に優しく穏やかな気持ちを運んでくれます。

東日本大震災で被災された方々の心の復興に向けて、東郷青児記念 損保ジャパン日本興亜美術館収蔵の「グランマ・モーゼス」作品とカメイ美術館収蔵の色とりどりの「花」の絵画を展示いたします。



《テーブルで絵を描くグランマ・モーゼス 1952年》(for Thomas撮影)
Copyright © 1973 Grandma Moses Properties Co., New York.

グランマ・モーゼス (Grandma Moses)

1860年 - 1961年

アメリカ北東部、ニューヨーク州のグリニッチに生まれる。本名はアンナ・メアリ・ロバートソン・モーゼス(Anna Mary Robertson Moses)。1887年トーマス・サーモン・モーゼスと結婚し、同年、ヴァージニア州に移り農業を営む。1905年に一家でニューヨーク州に戻りイーグル・ブリッジに農場を購入した。生涯の大部分を農家の主婦として農業や酪農業、家事に従事していたモーゼスが絵を描き始めたのは70歳を過ぎてからだった。最初は糸を使った刺繍絵を手がけていたが、持病のリウマチの悪化に伴い、70歳代半ばから針よりも楽に持つことのできる筆を使って本格的に絵を描くようになった。1961年、101歳で亡くなる直前まで、身の回りで繰り広げられる農園の暮らしや少女時代の思い出を主題にした作品を描き続けた。正規の美術教育を受けることなく、独自の世界観で描かれた作品は多くの人々に愛され、グランマ・モーゼス(モーゼスおばあちゃん)の愛称で親しまれた。



梅原龍三郎《薔薇》1972年 カメイ美術館蔵



小山敬三《マジョリカ壺の胡蝶蘭》1983年 カメイ美術館蔵



【交通案内】

JR仙台駅・西口より 徒歩10分
地下鉄南北線五橋駅・北4出口より 徒歩3分
仙台市営バス、宮城交通バス・五橋一丁目バス停より 徒歩2分
*駐車場はございませんので公共の交通機関をご利用ください。

協賛

仙台トヨペット、アストモスエネルギー、EMGマーケティング、イササカ、SMBC日興証券、NTTドコモ、ENEOSグローブ、エムケー精工、岡村製作所、オリックス自動車、共立、クリナップ、ケルヒャージャパン、弘進ゴム、コカ・コーライーストジャパン、コマタ、サッポロビール、サンエーテック、三甲、JXエネルギー、七十七銀行、清水建設、スティック、清月記、正和工業、セルコホーム、仙台銀行、損保ジャパン日本興亜ひまわり生命保険、第一生命保険、大成建設、タツノ、ダンロップタイヤ東北、東急リパブル、東北ミサワホーム、東洋刃物、トータル保険サービス、トスネット、凸版印刷、日新製鋼建材、バイタルネット、橋本店、東日本興業、ビューター、富士ゼロックス宮城、フジタ、藤田商事、富士通、富士通マーケティング、扶桑電通、ブリヂストンタイヤジャパン、宝来産業、北越共済、丸紅、みずほフィナンシャルグループ みずほ銀行・みずほ信託銀行・みずほ証券、三井住友銀行、三菱東京UFJ銀行、宮城蔵王観光、ライトマックス、LIXIL